

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

No	事業の名称	事業の内容	交付金を 充当する経費	事業 始期	事業 終期	R2決算額		効果
						R2決算額	交付金 充当額	
1	おとふけ飲食店応援クーポン券事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営状況が悪化している飲食店の事業継続、地域経済の振興を図るため、町内飲食店で使用できるクーポン券を発行する。 町民1人当たり1,000円(500円×2枚)	・音更町商工会に対する交付金 ・郵便局に対するクーポン券引換業務委託料 ・事務経費 等	R2.6.4	R2.10.28	45,078,280	45,000,000	クーポン券の発行により、町内の消費喚起が促進され、飲食店の売上増につながった。 参加店舗 110店舗 利用枚数 77,809枚 クーポン換金生産額38,904,500円
2	音更町飲食店給付金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店を迅速に支援するため給付金を給付する。 [支給額] 50,000円/1店舗	飲食事業者に対する補助金	R2.5.11	R2.7.17	6,950,000	6,950,000	利用者の減少等により影響を受けた飲食事業者に対して支援金を給付することにより、事業の安定が図られた。 給付件数 139件
3	音更町宿泊助成事業補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊客が大幅に減少し、経営状況が悪化している宿泊事業者を支援するため、宿泊料の一部を補助する。 宿泊助成金:1泊当たり2,000円又は4,000円	・音更町十勝川温泉観光協会に対する補助金 ・事務経費	R2.6.5	R3.3.25	143,500,000	102,040,000	宿泊助成により、宿泊客が増加し、町内宿泊事業者の事業継続、雇用の維持が図られた。 助成宿泊数 2,000円補助 6,018泊 4,000円補助 40,923泊 実施期間 7月～11月、2月、3月 宿泊客減少率 前年度(コロナ拡大前)対比△36% 未実施の場合 △53% 17%の減少を改善
4	音更町宿泊施設事業継続支援給付金	新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊客が大幅に減少し、経営状況が悪化している宿泊事業者を支援するため、給付金を給付する。 [支給額] 宿泊施設の規模(収容人数)に応じて、支援金を交付 1施設当たりの最大収容人数×5,000円	町内宿泊事業者に対する補助金	R2.5.7	R2.6.30	15,370,000	15,370,000	宿泊者の減少等による売上減少が加速する中、支援金を給付することにより、資金繰りを支援することができた。 給付施設数 13施設
5	音更町休業協力・感染リスク低減支援金	緊急事態措置に伴い北海道から休業要請等に応じた支援金を受給した事業者に対して、10万円を上乗せ給付する。	町内事業者に対する補助金	R2.6.16	R2.11.2	10,500,000	10,500,000	北海道の休業協力・感染リスク低減支援金に上乗せ補助することにより緊急的な事業者支援をさらに拡充することができた。 給付件数 105件
6	音更町中小企業者等事業継続支援給付金	売上が減少した中小企業者等の事業継続を支援するため、支援金を給付する。 [支給額] 1事業者当たり法人50万円、個人で30万円	中小企業者等に対する補助金 事務経費 等	R2.6.9	R3.2.26	310,178,392	307,219,000	売上が減少した中小企業者等に支援金を給付することにより、事業継続を支援することができた。給付対象となった事業者に対して実施したアンケートの結果、85%以上の事業者から「給付金の効果があった」との回答があった。 給付件数 830件(法人309件、個人521件)
7	公共施設感染症対策事業	感染症対策として、公共施設(役場庁舎、地域会館、教育文化施設等)に配置する消毒液、飛沫感染防止用のビニールシートやアクリル板等を購入する。	感染症対策に係る消毒液、間仕切り(ビニールシート、アクリル板)等の消耗品費	R2.4.13	R2.12.4	2,596,043	2,550,000	公共施設の感染症予防対策が図られた。(役場庁舎、地域会館、教育文化施設等) 感染症対策消耗品の購入(感染症防止アクリル板・ビニールフィルム、ハンドソープ、消毒用アルコール、ゴム手袋、ペーパータオル、換気用扇風機、ビニール手袋、消毒用噴霧器、マスク)

No	事業の名称	事業の内容	交付金を 充当する経費	事業 始期	事業 終期	R2決算額	効果			
							交付金 充当額			
8	木野支所無線ネットワーク整備事業	感染防止の観点から住民との対面の機会を極力少なくする努力が求められる。木野支所にWi-fi環境を整備し、タブレット端末を配置することで、木野支所と現場との遠隔相談体制の構築を図る。	Wi-fi環境整備経費、タブレット端末購入費	R2.5.23	R2.6.30	837,100	837,000	リモートでの相談体制が構築でき、利用者の感染リスクの低減が図られた。木野支所(1施設)に対して無線ネットワーク環境を整備		
9	医療・福祉施設等感染症拡大防止支援金	感染拡大防止に取り組む医療・福祉施設を運営する事業者を支援するため、支援金を給付する。 [支給額] 100,000円/1事業所(1法人50万円を上限とする。) ※上限とは別に、陰圧室を設置している施設は30万円を上乗せして補助	医療・福祉施設運営事業者に対する補助金	R2.6.2	R2.9.9	14,100,000	14,000,000	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染症対応経費が増加する中、医療・福祉事業者に対して支援金を給付することにより、事業者の負担が軽減されるとともに、感染症対策の推進が図られた。		
10	学童保育所手洗い場温水器設置工事	感染症拡大防止策として手洗いが重要であることから手洗い場の環境を改善する。冬期間でも手洗いができるように温水器等を設置する。	温水器の設置経費等	R2.7.29	R2.11.6	3,388,000	3,380,000	温水器の設置により、冬期間における手洗い環境が整備され、児童の感染リスクの低減が図られた。 町内学童保育所7か所		
11	新型コロナウイルス感染症予防啓発事業	感染症予防に関する啓発用パンフレット等を町民に対して配布する。	パンフレットの新聞折込手数料	R2.6.11	R2.11.20	141,404	115,000	パンフレットの配布により、感染症予防の啓発がなされた。 町内全戸配布(新聞折り込み)		
12	学生支援事業	感染症の影響を受け、収入が大幅に減少し経済的に就学が困難となった生徒に対して奨学資金を支給	奨学資金	R2.7.13	R3.2.26	1,104,000	1,100,000	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が急変した家庭に支援を行うことができた。 [交付件数]12件		
13	GIGAスクール構想推進事業①	教職員及び児童生徒に1人1台の学習用端末を整備する。	児童生徒1人1台の学習用端末購入費、学習用端末設置・管理委託料	R2.7.28	R3.3.31	70,816,000	68,720,000	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、教職員及び児童生徒分の学習用端末を整備し、学びを止めない学習への支援が図られた。 [整備台数] 4,300台 [導入率]0%→100%		
14	GIGAスクール構想推進事業②	臨時休校時におけるリモート学習が可能となるよう、遠隔学習用機器を整備する。	遠隔学習用機器の購入経費(マイク、カメラ、WEBカメラ、三脚、マイク、ヘッドセット)	R3.3.18	R3.3.29	1,070,080	238,000	遠隔学習機器を整備し、臨時休校時や自宅待機時などにおける学びの場の確保を図った。ウェブカメラ38台 ワイヤレスマイク38台等 遠隔学習用機器数 小学校0校→11校 中学校0校→5校		
15	GIGAスクールサポーター配置支援事業	学校のICT化を支援するため、ICT技術者を学校に配置する。	GIGAスクールサポーター派遣業務委託料	R2.11.26	R3.3.31	9,460,000	4,247,000	ICT技術者を各学校に派遣することにより、chromebookの円滑な導入及び教員の端末活用能力向上に寄与した。 派遣箇所 小学校11校、中学校5校 派遣人数 8人		
16	農村地域光回線網整備事業	農村地域に光回線網を整備することで情報通信格差解消、情報通信技術を活用した農業生産力の強化を図る。	光回線の整備に要する経費等(民設民営事業のため、事業者であるNTTに対して負担金を支出)	事業全体を繰り越して、実施中						
						R2.9.23	R4.3.31	879,468,000	479,522,000	※決算額等は予算額を記載

No	事業の名称	事業の内容	交付金を 充当する経費	事業 始期	事業 終期	R2決算額	交付金 充当額	効果
17	コミュニティセンター等無線ネットワーク整備事業	コミュニティセンター等にWi-Fi環境を整備する。	コミュニティセンター等におけるWi-Fi環境整備委託料	R2.8.17	R2.11.2	1,534,247	1,530,000	Wi-Fi環境が整備されたことで、施設と自宅等を繋いだオンラインミーティングが可能となり、施設内におけるクラスターの発生抑制など、感染リスクの低減が図られた。 [整備施設] 3施設
18	子ども・子育て支援交付金	学童保育所8施設に対して、小学校の臨時休校に伴う掛かり増し経費分及び利用自粛に伴う利用料減免分を支援する。	学童保育所運営委託料	R2.4.1	R2.3.31	7,696,880	1,808,000	新型コロナウイルス感染症に伴う小学校の臨時休業等に対応し、学童保育所において保護者の就労支援と負担軽減対策が図られた。 [対象施設] 学童保育所8施設
19	学校保健特別対策事業費補助金①	感染症対策のため、小中学校の児童生徒等にマスクを配布	マスク購入経費	R2.5.8	R2.5.29	2,954,000	600,000	小中学校の児童生徒等にマスクを配布し、感染症拡大防止を図った。 小中学校16校等にマスク4,500枚を配布
20	学校保健特別対策事業費補助金②	学校臨時休業時における家庭への郵送料のほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等として消耗品等を購入する。	郵送料や消毒液、非接触式体温計、フェイスシールド、扇風機、モニター等の消耗品費・備品購入費	R2.4.6	R3.2.12	12,720,021	6,325,000	感染症対応消耗品等の整備により、感染症予防対策が図られた。 ゴム手袋、ハンドソープ、ペーパータオル、消毒用アルコール、フェイスシールド、スプレーガン、扇風機、非接触型体温計、使い捨てシューズカバー、遠隔学習用ディスプレイを購入、臨時休校時の郵便料を支出
21	母子保健衛生費補助金	保健センターに無線ネットワーク環境を整備する。	Wi-Fi環境整備委託料 母子手帳アプリ使用料 ネットワーク使用料 オンライン用タブレット購入費	R2.10.15	R3.3.31	1,947,684	950,000	無線ネットワーク環境の整備により、オンラインでの相談、情報提供が可能となり、妊産婦や子育て中の方の不安の解消が図られる。 保健センター1施設に無線ネットワーク環境を整備 オンライン相談件数 1件
22	公共交通機関感染症拡大防止支援金	公共交通機関について、町民が安心して利用できるよう衛生的な車内環境を確保するため交通事業者が取り組む新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対して支援する。 [支給額] バス会社: 25千円/1台(上限500千円) タクシー会社: 15千円/1台	公共交通事業者に対する補助金	R2.9.24	R2.10.14	1,375,000	1,375,000	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染症対応経費が増加する中、公共交通事業者に対して支援金を給付することにより、事業者の負担を軽減するとともに、感染症対策の推進を図った。 給付件数 路線バス 2事業者、タクシー 9事業者 ※重複: 1事業者 町内公共交通事業者支給率100%
23	帯広大谷短期大学感染症拡大防止支援金	帯広大谷短期大学が取り組む新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対して支援する。 [支給額]定額1,500千円	帯広大谷短期大学に対する補助金	R2.10.16	R2.10.27	1,500,000	1,500,000	支援金の給付により、衛生的な学習環境の確保が図れた。 短期大学1施設に対して支援 大学側の整備内容 講義配信用期間ネットワーク整備・無線LAN整備マスク6,500枚、フェイスシールド350セット、消毒液等
24	保健センター手洗い場改修工事	保健センタートイレの手洗い場水洗を非接触式(自動感知式)のものに改修する。	トイレ水洗い場水洗の改修	R2.9.17	R2.10.20	396,000	396,000	保健センターの蛇口を非接触型(センサー方式)に交換したことにより、接触機会が減り、感染リスクの低減が図られた。 保健センター内3箇所
25	図書館除菌機購入	感染症拡大防止対策として、図書消毒機を購入する。	図書消毒機(2台)購入費	R2.10.15	R2.12.8	1,958,000	1,958,000	消毒機の整備により、図書の消毒が可能となり、感染リスクの低減が図られた。 図書除菌機 2台設置 月平均202回使用 (本館169回、分館33回)

No	事業の名称	事業の内容	交付金を 充当する経費	事業 始期	事業 終期	R2決算額		効果
							交付金 充当額	
26	音更町飲食店等緊急支援	年末年始の会合等の中止により売上が大幅に減少している飲食店等に対して支援金を給付する。 [支給額] 20万円/1店舗	飲食事業者に対する補助金	R3.2.9	R3.3.31	21,000,000	15,500,000	本来は繁忙期である年末年始の売上が大幅に減少した飲食事業者に対して支援金を給付することにより、事業の安定化が図られた。 給付件数 105件
27	音更町新型コロナウイルス感染症対応従事者等慰労金	クラスターが発生した町内の医療施設及び福祉施設においてその対応に当たる職員に慰労金を給付する。 [支給額] 30千円/人	医療施設及び福祉施設職員に対する補助金	R3.3.15	R3.3.25	10,770,000	10,000,000	心身に相当の負担がかかる医療・福祉施設職員の慰労を図ることができた。 給付人数 359人(3事業所)
		合 計				1,578,409,131	1,103,730,000	